



1 道路空間の再構築

歩行者空間拡大等による道路空間のあり方を整理するため、歩道拡幅手法の検討、道路構造を含めた全体デザインの検討、コスト算出等を行いました。

2 拠点施設における防災機能の検討

道の駅の防災面での役割や設備の状況等を調査し、防災拠点として必要な機能、活用ポテンシャル等の検討を行いました。また具体の道の駅のBCP（業務継続計画）の検討を行いました。

3 公共空間の利活用の検討

広島駅南口周辺における公共空間の将来的な活用・運営方法を検討するため、WEBアンケートやワークショップにより意見を集約し、公共空間の活用方策や社会実験案の検討を行いました。

4 交通結節点の開業に伴う整備効果分析

バスタ新宿開業に伴う整備効果分析のため、開業前後における利用状況の変化や待合環境、インバウンドの動向等を整理し、課題への対応として渋滞対策の立案や交差点の線形検討を行いました。

5 駅周辺・駅前広場の計画・設計

JR上野駅公園口周辺の再整備プロジェクトとして、公園口改札前を横切る道路を遮断した、新たな駅前空間のデザイン、交通計画等の検討を行いました。また3Dスキャナーで計測した点群データ、PLATEAUを用いて作成した3Dモデルを活用した駅前空間の検討も行っています。

交通インフラ総合コンサルタント



株式会社 片平新日本技研
KATAHIRA & ENGINEERS INC.

